

# 平成14年度東北海区海況予報 第5号

平成14年12月10日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

## <<今後の見通し(2002年12~2月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並からやや南寄り(35°50'N~36°50'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で北寄りに推移する。
- (3)金華山沖の暖水域は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並(39°30'N付近まで)で推移する。  
三陸南部から常磐および鹿島灘沿岸では、断続的に冷水域の影響がある。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°10'E付近)である。

## (海況の経過(2002年1月~2002年11月)の特徴)

- ・ 近海黒潮の北限位置は、平年並で推移した。
- ・ 1月および3月に常磐沿岸に一時的な暖水の波及があった。
- ・ 6月以降、三陸沿岸から常磐沿岸にかけて冷水域が存在した。
- ・ 9月に三陸北部に黒潮系暖水の大規模な波及があった。
- ・ 親潮第1分枝の南限は、41°N付近(平年並~北偏)で停滞していた。
- ・ 表面水温は、北海道沿岸域と沖合で平年より低め~高め、東北沿岸は平年並で推移した。

## (現況(2002年11月下旬~12月上旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並(36°30'N)。
- (2)黒潮系暖水の北への張り出しは、近海で北寄り。
- (3)暖水域が、金華山の東約250kmにある。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、ほぼ平年並(42°N)\*。  
冷水域が、常磐沿岸から三陸沿岸に広く分布している。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢(143°10'E)。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

\* 表面水温・人工衛星情報による